

# 岐阜県代協ニユ

2025.11  
vol.368



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

# 会長挨拶

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

えんどう よしかつ

会長 遠藤 昌克

今年は10月まで残暑が残り、11月に入っても比較的暖かく、秋の訪れが遅くなりました。後半になり、ようやく寒さが訪れ、今年は短い秋になりました。紅葉も岐阜県では例年より1～2週間くらい遅いのではないのでしょうか。

寒くなり始めると風が強くなり、大分では170棟以上が被災する大規模火災が発生しました。被害に遭われました方々にはお見舞い申し上げるとともに早い復興を祈念申し上げます。また、寒くなると「鍋」が食べたくなります。「鍋」というと忘年会です。最近では11月から開催することも多くなっています。今のような飲み会形式の忘年会は明治時代からで、昭和のころから企業で忘年会が行われることが一般的になったようです。



さて、代協活動ですが、10月末から行事が続き、私においては忙しい時期でした。10月31日に「損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方」をテーマに日本代協専務理事 金澤 亨氏の講演がありました。保険会社の不祥事判明後の代協の対応、今の業界の動き、今後の代理店に求められることや、顧客本位の業務運営を貫くと、お客様に「ありがとう」と言ってもらえる。それを貫くことの重要性についてなど貴重なお話が聞けました。11月7日～8日は日本代協コンベンションが開催され、参加いたしました。今年も約400名を超える参加者がありました。コンベンションは全国の仲間が一堂に会し、未来に向けて学びあい、考えを交わす貴重な機会です。参加されました会員の皆様から感想がよせられると思いますのでお読みください。今回はパネルディスカッションも含め、講演も日本旅行の名物社員、平田 信也氏の「ほんまもんのサービスはこれや！」も今後の代理店運営にぴったりなお話でした。私は翌日、岐阜県代協セミナーに以前ご講演いただきました吉田桂公弁護士セミナーを受講しました。この講演も顧客本位の業務運営の実践に向けてのお話であり、何が顧客最善の利益かを自ら代理店が考え抜く必要があることを学びました。11月14日には提携業者との交流会が行われ、各提携業者の皆様からPRをしていただき、交流を深めていただきました。また同日に東海ブロック組織委員会主催の「若手育成セミナー」が岐阜で行われており、日本代協から藤山副会長、石川担当理事、下村前担当理事にお越しいただき、講演やグループ討議を行い、参加した方からは「参加してよかった」、「代協のことがよく分かった」との感想をいただきました。これから先の代協を支えてくれることと思います。11月19日には消費者団体との情報交換会を行いました。岐阜県からは、やはり一連の不祥事により、生命保険より損害保険の相談が多くなったが、全体に見ると件数は減少している。弁護士特約の付帯が増えたからと思われる。そして事故についての相談、契約についての相談の報告があり、岐阜市からは2件の相談というより苦情としてなんで保険料がこんなに上がるの、との報告がありました。様々な事例など交えて意見交換いたしました。このたくさんの事業についてはいずれ何かの機会にお話しさせていただきます。

今年度はなかなか各支部例会に参加できておりませんが、3月末までには各支部に参加させていただきたいと、今年やり残したことを考えていると、あっという間に年末です。いよいよ本格的に寒くなります。今年の冬は急に寒くなったりするそうです。寒暖差で体調を崩さないよう、また全国的に猛威を振るうインフルエンザ感染にも注意して師走を迎えましょう。

1 p・・・会長挨拶／目次  
2 p・・・スケジュール／事務局より  
3 p・・・コンベンション報告  
4 p・・・支部報告①  
5 p・・・支部報告②／委員会報告①  
6 p・・・中さんの保険諸国慢遊記 (234) ①  
7 p・・・保険ジャーナリスト ②  
8 p・・・中崎章夫 ③

9 p・・・『街道シリーズ』（伊勢街道 6）松尾 一  
10 p・・・防災教育フェア出展報告  
11 p・・・提携事業者広告掲載①  
12 p・・・提携事業者広告掲載②  
13 p・・・提携事業者広告掲載③  
14 p・・・提携事業者広告掲載④  
15 p・・・委員会報告②／編集後記

# スケジュール/事務局より

## ～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
10	16	木	組織	委員会(14:00～)	県代協事務局 ハイブリッド
	31	金	教育	秋のセミナー(14:30～)	メディアコスモス
	31	金	岐阜	役員会(12:30～)	メディアコスモス
11	5	水	西濃	例会(11:30～)	五右衛門
	7	金	日本代協	日本代協コンベンション(13:00～)	グランドニッコー東京
	8	土			損保会館
	8	土	岐阜新聞社	ぎふ防災フェア(10:00～)	県庁前公園
	11	火	中濃	例会(10:30～)	太田交流センター
	13	木	教育	コンサルティングコース申込資料準備	県代協事務局
	13	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	13	木	飛騨	例会(11:30～)	魚菜
	14	金	企画環境	提携事業者交流会(18:00～)	グランヴェール岐山
	19	水	CSR	消費者団体情報交換会(14:00～)	OKB ふれあい会館
	21	金	岐阜	役員会(11:30～)	ひしの寿司
	21	金	飛騨	役員忘年会(18:30～)	調整中
	27	木	県代協	選挙管理委員会(14:00～)	県代協事務局
	28	金	東濃	研修会(13:30～)	クアリゾート湯舟沢
	29	土			
12	3	水	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂総合センター
	3	水	西濃	例会(11:30～)	五右衛門
	4	木	教育	委員会(13:00～)	県代協事務局
	5	金	岐阜	合同ブロック忘年会(18:00～)	長良川清流ホテル
	9	火	中濃	例会(10:30～)	太田交流センター
	11	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
1	21	水	県代協	賀詞交歓会	グランヴェール岐山
2	6	金	飛騨	新年会(18:00～)	ひだホテルプラザ
5	27	水	県代協	通常総会	グランヴェール岐山

### ～事務局より～



★2025年12月22日(月)に2025年度第Ⅲ期の会費を、ご指定口座より振り替えさせていただきます。政治連盟にご加入の会員の方は、併せて振り替えさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

(ご不明な点は、県代協事務局までお尋ね下さい。)

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050

FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp

## 第14回 日本代協コンベンション報告

第14回日本代協コンベンションが、11月7日(金)、翌日11月8日(土)、グランドニッコー東京 台場パレロワイヤルおよび損保会館、ベルサール神田にて、本年度も業界関係者を含めた情報交換と経験交流を目的とし開催されました。岐阜県代協より5名（遠藤 昌克、森 信彦、川島 邦夫、畦地 正治、萱垣 宏光 敬称略）ご参加いただきました。

第1部の式典では、岐阜県代協中濃支部所属（株）ジャパン保険相談センター 石原 壮逸 氏が長年にわたる功績により功労者表彰されましたことご報告させていただきます。

### 《主な内容》

#### 第1部：式典（功労者表彰）

基調講演 ■テーマ 「ほんまもんのサービスはこれや！」

■講師 平田 進也 様

（おもしろ旅企画 ヒラタ屋 代表）

#### パネルディスカッション

■テーマ 『業界で発生した事象を振り返ると共に、  
今後の代理店・代協のあり方について』

■パネラー 錦野監事 様（弁護士法人中央総合法律事務所 代表社員弁護士）  
一般社団法人 日本損害保険代理業協会 金沢 亨専務理事

第2部：懇親会の部 11月 7日（金）18：00～20：00

第3部：分科会の部 11月 8日（土）10：00～12：00



中濃支部（株）ジャパン保険相談センター 石原壮逸氏



# 支部活動報告

## 【岐阜支部 11月活動報告】

○岐阜支部 10月役員会報告

開催日時 : 2025年10月31日(金) 12:30~ 開催場所 : メディアコスモス  
参加者数 : 5名 報告者名 : 松野 亘芳

《議題》

- ① 岐阜県代協セミナー及び合同ブロック会について
- ② 各委員会報告
- ③ その他情報交換

※次回役員会 2025年11月21日(金) 11:30~ ひしの寿司にて

## 【西濃支部 11月活動報告】

○西濃支部 11月例会報告

開催日時 : 2025年11月 5日(水) 11:30~ 開催場所 : 大垣「五右衛門」  
参加者数 : 13名 報告者名 : 中河 美智彦

《議題》

- ① (株)MSG保険サービス 樋口社長より・・・渡邊会長 葬儀、告別式参列御礼
- ② 委員会報告
  - ・企画環境・・・11/5 委員会報告  
11/14 18:00~ グランヴェール岐山にて 提携事業者交流会開催
  - ・教育・・・10/31 秋のセミナー参加御礼  
12/1 コンサルティングコース申込開始
  - ・CSR・・・ぼうさい探検 西濃支部完了  
11/19 消費者団体情報交換会開催
  - ・組織・・・11/14~15 東海ブロック若手研修会 (有)ヤスエ保険事務所 中根氏参加
- ③ 日本代協・県代協より
  - ・11/7~8 日本代協コンベンション開催・・・(有)アイエーファイン 畦地会長参加
  - ・弁護士セミナー (渡部法律事務所) クインテッサホテルにて12月上旬開催(確定次第案内)
- ④ その他
  - ・「退職代行サービス会社」の弁護士法違反について
  - ・「人身傷害保険金」の相続権について

※次回例会 2025年12月 3日(水) 11:30~ 大垣「五右衛門」にて

## 【中濃支部 11月活動報告】

○中濃支部 11月例会報告

開催日時 : 2025年11月11日(火) 10:30~ 開催場所 : 太田交流センター  
参加者数 : 9名

《議題》

- ① 委員会報告
  - CSR・・・自賠責無保険追放キャンペーン、ティッシュ配布打ち合わせ
- ② その他情報交換

※次回例会 2025年12月 9日(火) 10:30~ 太田交流センターにて



## 【東濃支部 11月活動報告】

○東濃支部 11月例会報告

開催日時 : 2025年11月13日(木) 11:30～

開催場所 : みわ屋

参加者数 : 9名

報告者名 : 水野 智久

《議題》

- ①各委員会報告
- ②新規入会 中央紙運輸(株) 愛知様 より自己紹介
- ③11月14日 提携事業者交流会参加要請
- ④11月28日(金) 支部冬のセミナーについて

※次回例会 2025年12月11日(木) 11:30～ みわ屋にて

## 【飛騨支部 11月活動報告】

○飛騨支部 11月例会報告

開催日時 : 2025年11月13日(木) 11:30～

開催場所 : 魚祭

参加者数 : 6名

報告者名 : 熊木 千夏

《議題》

- ・各委員会報告
- ・日本代協コンベンション参加報告(萱垣支部長より)
- ・来年度の役員の数(次回 11月21日)の役員会にて協議する) 12月の例会で決定したい
- ・飛騨支部新年会について 2月6日(金)18:00～ ひだホテルプラザにて
- ・その他情報交換

# 委員会報告

## 【教育委員会】

日時 : 2025年10月31日(金) 14:30～

会場 : メディアコスモス「かんがえるスタジオ」

参加者 : 53名(会員、賛助会員)

《内容》

岐阜県代協『秋のセミナー』を開催いたしました。『損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方』と題し、(一社)日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤 亨 氏をお招きいたし、ご講演いただきました。三年ぶりの岐阜支部でのセミナー開催となりました。岐阜支部会員のご参加を中心に、西濃、中濃、東濃、飛騨支部からも多くの正会員の皆様にご参加をいただき、賛助会員の皆様合わせて53名の方にご参加をいただきました。

講演は穏やかな雰囲気で行われ、お集まりいただいた皆様にご好評をいただき、盛況の内に終える事が出来ました。ご尽力、ご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。

(委員長 山田 秀一)



## 20年先も成長し続ける「アセットパートナー」モデル構築へ

―未曾有の転換局面下で首都圏トップ専業2社が統合、「GRANDAS」設立へ

### ◇孫娘の七五三で群馬太田の「呑龍さま」詣でと味な旅

11月15、16日の土日を利用して、群馬県太田に住む次男の小学1年の娘の七五三のお参りとお祝いを兼ね次男宅に泊りがけで車で出かけることになった。往きには邑楽町のごね家で旨辛肉汁つけうどんを食べた。何年ぶりだろう、汗だくで太くシコシコした手打ちうどんを旨辛肉汁につけていただく爽快感。

また、夜はみなで、邑楽郡大泉町の小堀うなぎ店でうな重をいただく。ここ店のうなぎは、まさにふわトロで大好きな店だが、こちらも2年ぶりの訪問となった。いつもは普通のうな重（4100円）だが、今回は奮発し二番目に高いうな重（5700円）にしたが、かば焼きが幾分大きかったのと漬物の器が違っただけで、コスト的にも味的にも普通のうな重で十分だと改めて感じた。

日曜は、朝から地元の写真館で孫娘の衣装の着付けに付き合った後、徳川家康が、1611年に先祖の新田義重の追善供養のために建立した菩提寺で、「子育て呑龍」として名高い大光院で、参拝した。子育て呑龍の由来は、開山の呑龍上人が当時、多くの子どもが間引かれて殺されていたことを悲しみ、これらの子どもを弟子として引き取って育てたため、後世の人々から子育て呑龍と慕われたことからきているという。七五三には着飾った子供連れの参拝者で混雑している。境内の大銀杏の紅葉は見事、名物の臥竜松はついに枯れてしまったのが残念。孫娘は露天の綿あめとりご飴をねだりゲットして上機嫌だ。昼は孫娘の好きな寿司ということで、がってん寿司で、私は好物のコハダ5皿、ミナミマグロ中トロ、ヤリイカ、トロタク巻を食べ満足した後、亡き義母が好んだ洋菓子店マロニエのザマンドを求め、このイベント最後の役目も果たしホッとして帰途についた。

### ◇業法改正がらみで未曾有の大転換期に突入した代理店市場

今回の一連の保険業法関連改正がらみで保険市場が大きく変わる。中でも大規模乗合代理店や兼業代理店、企業内代理店には厳格な規制が敷かれる。保険会社と代理店の関係の在り方について、力関係の変化や、過剰な便宜供与の在り方等の従来の取引慣行に絡む構造的な問題の解消に向けてルールが大きく変わるからだ。基本は顧客本位の業務運営と公正な競争環境の整備だ。

従来は、大規模代理店に対しては、各保険会社から過剰な便宜供与により、歪んだ契約獲得・シェア競争により顧客の商品選択の自由が奪われてきたことが問題視され、顧客起点に立った適正競争の確保のための新たなルールや制度・ガイドラインの整備が急ピッチで進められつつある。

### ◇業界共通基準に基づく自己点検チェックリスト対応に大わらわ

損保協会には第3者評価機関が置かれ、大規模代理店には厳格な品質チェックを義務付けるほか、すべての代理店にも同様の業界共通基準に基づく自己点検チェックリストでの自主点検データ提出を求め、それらデータは専用の業界システムを開発し集計し、各保険会社と代理店との対話に活用するとともに、各社独自品質基準加味のうえ、手数料ポイントにも反映させる仕組みとなっている。現在はトライアル段階で提出は任意だが、現場の声も反映させつつチェック項目をブラッシュアップし2026年度から本格的に実施する。

### ◇品質基準、体制整備でプロとノンプロの峻別時代が来た！

このように代理店の規模や特性にかかわらずすべての代理店に業界共通の品質基準が導入されるとどうなるか。差し当って想定されるのが、保険会社からの出向や支援によりようやく成り立ってきた依存度の高い、それゆえ実務能力や人材の確保が困難なノンプロ代理店の市場からの離脱である。これからはプロフェッショナル度の高い、業務品質を備えた体制が完備した代理店が求められる時代に局面が大きく転換する時代に入ったということだ。ゆえに代理店市場が流動化する時代の到来でもある。

この損保の業界共通品質基準（171項目からなる自己点検チェックリスト）は、「最低品質保証」とされる位置づけにある点に留意したい。顧客対応、フォローアップ、個人情報保護、ガバナンスにつき、代理店が独自かつ主体的に項目をテックするとともに、具体的記述や資料（証拠）の提出も求めるなど、単なる形式的対応ではなく、実質的・主体的な対応を求めていることも特徴だ。

こうした自己点検チェックリストをつぶさに確認していくと、日常の代理店業務実態があからさまに映し出されるようになっている。保険会社提供の代理店システム（契約管理ベース）だけではなく、関連する、スケジュールリングやファイリング、顧客との対応記録・コンタクト管理や満期更改の工程管理等のオフィス業務管理を継続的にデータで管理しておく必要があり、そのためには日ごろから代理店業務システムの活用が必要になってくるのは必至だ。

## ◇「守り」のみならず「攻めの観点」が肝要

しかもこれは単にコンプライアンス（法令順守）などの守りの観点のみならず、顧客対応品質の向上、生産性アップ、体制整備の高度化による、今後の代理店市場流動化における優位性確保といった、攻めの観点から臨むことが重要になっている。

こうした中でプロ代理店業界でもこうした新たな局面に従来の枠から脱却するような新たな大きな動きが出てきた。今回は、10月1日に発表されプロ代理店業界でも大きな関心をもたれたトップ代理店同士の経営統合について取り上げてみる。

## ◇千葉と神奈川のトッププロ同士が経営統合し新会社設立へ

三井住友海上代申（新特級TGA）の全国トップクラスの乗合代理店である、ほけんプラザエイプス株式会社（創業43年、本社：千葉県千葉市、代表取締役：田切 裕二、6店舗、従業員58名、損保4社、生保18社）と、株式会社プリベントス（創業47年、本社：神奈川県川崎市、代表取締役：矢島護、2店舗、従業員33名、損保5社、生保9社）は、両社の共同出資により新会社「株式会社GRANDAS（「グランドス」、代表取締役会長田切裕二、代表取締役社長矢島護）」を両社の中間点の千葉県市川市に設立し、来年（2026年）4月1日付で経営統合を行うと10月1日発表した。

新会社の事業内容は、損害保険代理業、生命保険代理業、従業員数約90名。保険料は、損保の収入保険料30億円、生保収入保険料35億円、顧客数4万件。

新会社では、顧客の資産を守るだけでなく、貯める、増やす、使う、次世代へ繋ぐといったアセットニーズに、最高品質のサービスで応えたいという想いを込め、GRAND（最上級）+Defense（守る）+Aggressive（挑む）+Sustainable（継続する）を掛け合わせた造語の「GRANDAS（グランドス）」を社名としている。

## ◇水平統合で20年先も通用する代理店モデル構築へ

両社はこれまで、損害保険・生命保険両分野における専門性、地域密着型のきめ細やかな営業力、顧客・保険会社双方から信頼される業務品質を強みとしてきたが、今回の経営統合により、両社の強みを結集させ、フルラインナップであらゆる方面からのサービスを提供し「20年先も成長し続け、お客様・社員・地域社会から選ばれる会社」を目指し、持続可能な成長を実現していく、としている。

これまでの専業代理店のM&Aは、大規模代理店が小規模代理店を吸収する方式の垂直型合併が一般的だったが、千葉のエイプスは生保・シニア分野、神奈川のプリベントスは損保の新種・法人とそれぞれ異なる得意分野を有する両社がタッグを組み、新たなブランドの会社として経営統合に踏み出す。トップクラス専業代理店同士の、将来の厳しいマーケット環境を見据えた新たな戦略的水平統合として注目される。

## ◇危機感をバネに次代を見据え将来を見据えた体制整備必須

保険業界を取り巻く環境は、少子高齢化、デジタル化の加速、顧客ニーズの多様化など、大きな変化が続いている。さらに、業法改正により、保険会社と代理店の関係も激変し、顧客を起点とした、サービス品質向上に新たな体制整備が求められる未曾有の転換期に直面している。代理店と言えど金融事業者としてガバナンス、現場営業・業務部門に加えリスク管理部門、内部監査部門の3線管理が厳しく求められる。現行の代理店手数料の縮減も必至だ。それゆえ、トップクラスの専業代理店とはいえ、従来のスタイルのままでは、たとえ5年は現行の体制で持ちこたえられたとしても20年先は覚束なく、いずれ余裕、体力がなくなる状況に追い込まれる。その危機感をバネに、次代を見据え、こうした変化に柔軟かつ迅速に対応し、質の高いサービスを持続的に提供していくためには、強固な経営基盤と将来を見据えた体制整備が不可欠になっている。

代申の三井住友海上も2027年4月にはあいおいニッセイ同和との統合を控えているが、それより前に決断したのは、業法改正の影響で企業代理店再編が今後急速に進み、規模の大きな企業内代理店の行き先は、金融機関代理店や保険ブローカー等となるが、300～500人規模の地場企業はエアポケットとなることは必至で、地銀とのパイプを密にし、受け入れ体制を整えておく必要があったからだ。

## ◇「名」を捨て枠にとらわれず、新領域に踏み出す！

そこで両社は、それぞれの愛着ある代理店名をあえて捨てる決断をするに至り、「脱保険代理店」「枠にとらわれず、新領域に踏み出す」「20年後も成長している」新会社ブランドを立ち上げ、代理店のBCP（事業継続計画）として、趣旨に賛同する、困っている若い代理店の仲間にも結集を呼びかけようというのが統合の狙いだ。

補償・保障、資産リスクの担保（守り）を起源とする保険業界は、時代の変遷と共に資産を増やす、有効活用する、相続・分配する等の顧客ニーズに対応してきた。今後、多様化する資産の利活用に応えられるように、保険代理店というポジションから「顧客のアセットパートナー」という機能へと進化することが求められている。生まれてから亡くなるまで一生涯寄り添う、「顧客との一生涯のパートナー」が同社の求める姿だ。

## ◇生保専任チーム構築し売上（手数料）も生損1対1へ

売上（手数料）についても、現在の損保中心の手数料割合を生損保1対1にすべく、大至急整えるため統合準備に踏み出した。現在は、エイプスが生損保1対2、プリベントスが1対4であるため、今後、損保の手数料がたとえ低下したとしても困らないように、新会社では生保主体の20人の専門チームを作り、収益基盤の構造的改革に取り組む、としている。



### ◇半年かけ、トップ同士で綿密かつ慎重にプラン作り

統合の経緯は、本年5月にトップ同士が話し合い、6月から大筋の方針を決め、それぞれナンバーツーを含めた4人でプランを慎重に作成し10月1日公表に至ったもので、それぞれ全社員会議の場等で今後の激変する業界環境や、今後合併がありうること、その際も顧客と社員を大事する経営スタンスは不変とのポリシーを周知してきたこともあったため、社員からは驚きはあったものの賛同を得られたという。というのも両社は、2011年の三井海上と住友海上の合併以来、トップ同士、同じ千葉の市川に自宅があり、公私にわたり親交を持ってきたこと、連携して法人開拓セミナー、相続診断士等の資格取得などで協力し合ってきたこと等があり、両社トップの人となりも分かっていたためだ。

### ◇来年4月スタート時には新たに若手代理店数店も参画へ

明年4月の新会社スタートまでにすでに若手の代理店数店から一緒にやりたいとの参加意向もあり、5万件、売上(手数料)10億円の大規模特定募集人としてのスタートとなる。

両社は統合に当たり、それぞれシステム面の統合も必要になってくるが、代理店の顧客管理システムには、ともにSDフィナンシャルテクノロジーの保険VOSを使用しているので大きな障害にならない(ただしバージョンが違うため、その統一化は必要)。

### ◇新会社の今後の基本スタンス

新会社の今後の展望としては、

#### 1) 保険会社との連携強化

両社のこれまでの協力関係をさらに深化させ、各保険会社とのパートナーシップを強固にし、代理店としての責務を着実に果たしていく。

#### 2) 業務品質・コンプライアンス体制の強化

- ・金融庁監督指針に基づいた法令遵守体制を確立
- ・内部監査・内部統制機能の強化
- ・反社会的勢力の排除および個人情報保護の徹底
- ・顧客対応品質の標準化・高度化

これらを通じて、健全で信頼される保険代理店運営を推進していく。

#### 3) 体制整備強化

- ・組織体制の再構築：経営管理部門や営業支援部門を強化し、業務フローを最適化
  - ・システム統合による効率化：デジタルツールを活用した契約管理・顧客管理の標準化
  - ・危機管理・リスクマネジメントの強化：災害時対応、不正防止対策、業務継続計画(BCP)の策定と実践
- これらにより、20年後も持続的に事業を運営できる盤石な体制を整える。

#### 4) 20年後を見据えた人材育成

- ・若手人材の積極採用と計画的育成
- ・専門知識と高い倫理観を備えた人材の育成
- ・お客様が安心して相談できる組織づくりを推進

将来を担う人材を継続的に育成し、持続可能な成長を支える基盤を整えていく。

今回の新会社設立につき、ほけんプラザエイプスの田切氏は「創業43年になるが、本統合は、将来にわたり持続的に会社を成長させ、次の世代へと確かなバトンをつないでいくために大きな決断をした。これからも変革を恐れず、挑戦し続けることで、お客さまの一生をお守りし、一層貢献していく。また、新会社も堅実な経営基盤と透明性の高い運営をもって、「正しいことを正々堂々と」実践していく。」としている。

また、プリベンタスの矢島氏は、「先代が創業し私が引継ぎ47年となるが、今回の統合により、両社の経験と知見を融合させ、お客様には保険にとどまらない各種ソリューションを提供し続けることで「一生」お守りし「次世代」へのスムーズな継承の支援が出来ると確信している。二つの会社一つになることで、お客様に提供できる価値がさらに広がる。体制整備を着実に進めながら、持続的成長を実現していく」としている。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)



勝地峠（上石津町経由 その2）



（勝地峠）

伊勢西街道は一之瀬の桑原家と分かれ、上石津学園の脇を通り標高 183 メートルの勝地峠へと向かいます。

この峠は坂がきつく、馬に荷物を乗せることができず、人足が担いで運ぶ「歩路（かちじ）」といていたところから名付けられたとか、天正 11 年（1683）、秀吉軍が北伊勢攻めのおりこの峠を通り勝利したから勝地峠と名付けられたとか伝わっています。

また、慶長 5 年（1600）の関ヶ原合戦で、敗走した西軍方の島津勢を追っていた東軍方の井伊直政が、この峠あたりまで来た時、島津勢によって足を負傷したため引き上げたといわれます。島津勢の捨て身の作戦「捨て奸（がまり）」が功をなしたのです。

そんな勝地峠には勝地番所跡の石碑があります。旗本高木家が設置したもので、ここを通過する旅人や物資の改めをしていたことでしょう。

また、この勝地峠には文政 13 年（1830）に建立された高さ 1 メートルあまりの松尾芭蕉「山路来て何やらゆかし菫草」の句碑があります。

この峠を挟む一之瀬村と鍛冶屋村との間に山境の争いがありましたが、無事和解しました。それを祝して一之瀬の俳人たちが芭蕉の句碑を建立したものです。この句碑に刻まれていた名前の中に、一之瀬の桑原家の当主で獅子門以哉派第 14 世道統桑原右麦の名前が刻まれています。右麦など俳人たちは、この地に咲いていた小さな紫色の可憐な菫に心を動かされていたかもしれません。

ただし、芭蕉がこの勝地峠を訪れたことはありません。芭蕉がこの句を詠んだのは、芭蕉が貞享元年（1684）8 月から貞享 2 年の 4 月にかけて旅した「野ざらし紀行」の中で詠んだ句です。「大津に出る道、山路をこえて」と前書きがありますので、近江の大津あたりの菫を詠んだと思います。

ちなみに芭蕉は「野ざらし紀行」の旅の途中、貞享元年の 9 月、大垣を訪れ木因や如行などと句のやりとりや歌仙を巻いています。

伊勢西街道は、この峠を下り江戸時代、鍛冶屋村など幾つかの枝村があった広大な多良村を進みます。



（芭蕉句碑）

まつお・いち）ライフワークは民俗、地域史（近世交通史）

著書は『岐阜地理・地名・地図の謎』（監修・実業之日本社）、『東海北陸の地名』（まつお出版）など多数

# 「防災教育フェア出展報告」

防災教育フェアに出展しました。

11月8日(土) 岐阜県庁および周辺で開催された、岐阜県主催の「防災教育フェア」に出展させていただきました。当日は日本損害保険協会 中部支部さんと岐阜県代協の合同ブースで、来場者の皆様に、「災害は身近なこと」であり、それに対する「保険の大切さ」をお知らせしてきました。

ブースは県庁前に完成した「ぎふ結のもり」の芝生広場。

当日は、天気にも恵まれ、10:00開場の出展ブースも、朝9:30にはご近所の方々や、お子様連れのお散歩の方などがたくさん来場いただき、各ブースを見学されていました。

また、隣の「OKBぎふ清流アリーナ」で開催されていた、プロバスケットボール B.LEAGUE(B3)の岐阜スーパースを応援にいらっしゃったご家族連れの方々もたくさんご来場いただきました。

このようなイベントは、興味のある方が積極的にご来場いただかないと盛り上がるイベントではないのですが、近くの方々の集いの場所や、他イベントの周辺で行うことで、多くの県民の皆様が気軽に参加でき、また積極的に啓発できることが素晴らしいと感じました。

私たちは、大人向けに「保険クイズ」、子供向けに「ぼうさいクイズ」という形でPRをしました。大変印象的だったのは、子供向けのクイズのなかに、大人も含めて半分以上の回答者が間違えたクイズがあったことです。

そのクイズとは、Q:地震でエレベーターに閉じ込められてしまった！この場合どうしますか？

- ① 中でじっとして助けが来るのを待つ ②すべての階のボタンを押す ③無理やり扉を開けて脱出する という問題でした。正解はもちろん『②すべての階のボタンを押す』です。すべての階のボタンを押して、出られたところで助けを呼びましょう。という回答です。

小学校高学年の子供さんや、お父さんは正解される方が多かったのですが、小学校低学年の子供さんや、お母さんが①と回答される比率が高く、私たちももっと啓発活動をしないといけないと実感しました。

参加いただいた方々には、防災グッズや地震保険キャンペーンのティッシュをお配りして、帰った後からでも話題にさせていただけたのでは？と思っています。このような防災イベントは各地で行われており、今後も機会があればぜひ参加できたらと思いました。皆様もぜひご家族を連れて参加してみてください。新しい「気づき」が得られるかもしれませんよ。



## ホームセキュリティの新提案

HOME ALSOOK  
みまもりサポート



安心を高齢者の皆様へ



# ALSOOK 日本ガード株式会社

本社：岐阜市茜部中島2丁目66-6  
U R L : <http://www.nihonguard.co.jp>

電話：058-274-0110  
e-mail : [eigyounihonguard.co.jp](mailto:eigyounihonguard.co.jp)

### ダメージカー(事故車・中古車)のご売却はタウにご相談ください

**査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料**

#### タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヶ国以上に販売マーケットを拡大してきました。世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社 タウ 名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712  
愛知県名古屋市東区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp

TAU  
[www.tau.co.jp](http://www.tau.co.jp)

- 本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ● 事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出
- 資本金：1億円 ● 従業員数：336名(2013年9月末) ● 売上高：156億円(2013年9月期)
- ネットワーク／札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本／ブリスベン、ウラジオストク、ドバイ





創業50余年。実績でお応えいたします。

# 株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

**自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!**

## くるまのガラス **救急隊!!**

フロントガラスを取り替えるなら、  
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。  
**エンジェルガード/クールベール**



**見積無料  
出張サービスOK**

ガラス交換  
ガラスリペア  
カーフィルム  
カッティングシート  
ウォータースポットとり



日本自動車ガラス販売施工事業協同組合

JAGU認定

国土交通省支援試験一級取得  
(JAGU:日本自動車ガラス販売施工事業協同組合)

取扱メーカー

**AGC**  
旭硝子株式会社

**NSG**  
GROUP

日本板硝子株式会社

**セントラル硝子株式会社**

看板制作も承ります。

フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで

<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48  
**TEL:0572-22-0175**  
FAX:0572-23-3510

■多治見店

岐阜県多治見市池田町1-41  
**TEL:0572-22-0175 (代)**  
(TEL対応可能)  
FAX:0572-23-3510  
営業時間 8:30~18:00  
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店

岐阜県美濃加茂市本郷町6-116  
**TEL:0574-25-2390**  
(TEL対応可能)  
FAX:0574-25-1710  
営業時間 8:30~18:00  
定休日 日・祝日定休

■恵那店

岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36  
**TEL:0573-26-2611**  
(TEL対応可能)  
FAX:0573-25-4183  
営業時間 8:30~18:00  
定休日 日・祝日定休

■高山店

岐阜県高山市下切町169-2  
**TEL:0577-33-4306**  
(TEL対応可能)  
FAX:0577-33-4307  
営業時間 8:30~18:00  
定休日 日・祝日定休

# 機動力

## 24時間365日 迅速フル対応

いつでも、  
どこへでも、  
トラブル現場へ。



岐阜本社  
本荘営業所  
岐阜羽島営業所  
岐阜北営業所

岐阜市柳津町南塚4丁目249  
岐阜市敷島町9丁目1-1  
羽島郡笠松町門間750  
岐阜市津島町3丁目57



至急 GO! レスキュー

事故・故障・レンタカーのご用命は



# 0120-495-039

## 有限会社 イブカ

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249

TEL:058-388-5678 FAX:058-388-5679

窓を変えて  
暮らしを変える。

☎503-0854

岐阜県大垣市築捨町5丁目121-1

✉tabata@t3ha.com

HP: <https://www.igokochi.biz/>

窓まわりのガラス、雨戸、シャッター、  
玄関ドア・引戸、勝手口、鍵 などなど  
被害に遭われた方に寄り添った対応を  
心掛けています！



0120-310-819

お電話でも受付中！

—お電話受付時間—  
平日8:30~17:30  
休業日/土日祝

お気軽にお問い合わせください♪

## 損害保険に係わる修繕工事を全て対応致します

- 民間 初動対応 → 被害者打合せ → 見積提示 → 施工 → 完了報告
- 公共物 初動対応 → 役所打合せ → 見積提示 → 施工 → 完了届返却後完了報告  
場合により各書類提出

上記、一連を同じ担当者で施工対応致します！



### お客様あつての 損害保険と理解しております!!

保険の価値が最も求められるのが事故が起きた時!  
代理店様からの要請により、迅速な対応・仮復旧・清掃・  
早期の現状復旧を目指し、事故に遭われたお客様、  
契約者様共にご納得・ご満足頂ける対応を行うことが  
ご依頼を頂きました代理店様への恩返しになると丁寧に  
対応致します。  
●保険修繕業務において10年以上の経験・実務を培ってきております。  
事故発生時には是非ご用命下さい

24時間365日対応

総合建設業 Houei sougyou  
**芳永総業**  
岐阜県知事許可 第103860号

岐阜県羽島市堀津町横手3丁目37-2  
TEL:058-398-2282  
渡邊:090-5869-9590

創業76年1000棟以上の実績  
大切なあなたのお住まいを守ります



七宗の健康住宅

〒長尾建設株式会社・カネジュー設計事務所



〒509-0511

岐阜県加茂郡七宗町神淵1793-1

☎ 0574-46-1321

地元寄り添う外構店です

株式会社 Hamaken エクステリア

代表取締役 浜田 智

所在地 岐阜県多治見市旭ヶ丘5丁目2-8

URL <https://www.hamaken8008.co.jp>

所有資格 建設業許可(般-2)第500929号

FAX 0572-26-9633



お問合せはLINEに頂けますと  
スムーズに対応させていただきます。

公式LINE  
アカウント

当社の強み

業歴  
約25年以上

お客様のご要望を  
ヒアリングし、  
職人目線で考えた  
+αのご提案

年間施工数  
100件以上

多くのお客様に  
満足していただくため、品質維持、  
柔軟な対応力と安心の技術を  
活かしていきます

安心の  
自社施工

お問合せから現地調査、  
打ち合わせ、施工、  
アフターフォローまで  
を一貫して対応

施工大切にしていること

丁寧にヒアリングし、お客様の想いを知り、  
予算に合わせた満足のいくご提案を。

5年後、10年後も美しい状態を維持できる、  
一歩先を考えた利便性の高い空間を。

美観性・機能性のどちらのにも兼ね揃えた  
外観工事を大切にしています。

自社施工店

一貫して全ての工程を担当



施工費用  
のみ

## 委員会報告 2

### 【教育委員会】

★損害保険大学課程 コンサルティングコース（2026年4月～2027年3月コース）申込受付がはじまります。（申込受付期間 2025年12月1日～2026年2月13日）

「損害保険大学課程 専門コース」の認定取得者が同コースで習得した知識を踏まえ、お客様のニーズに応じたコンサルティングを行うことができるように、より実践的な業務スキルを習得するためのコースです。ぜひ皆様の受講をお願いいたします。

概要は日本損害保険協会ホームページ「損保代理店試験サイト (<http://www.sonpo-dairiten.jp/>)よりご確認いただけます。

または岐阜県代協教育委員、事務局までご連絡いただければ、教育プログラム募集要項をお送りいたします。

皆様のお申込を  
お待ちしております！



### 編集後記

「今年の夏も異常なくらいの暑さ、秋の気配を感じる事がないまま冬に突入の感じですね。

お鍋の季節にもってこいの食材牡蠣も、ここ20年でも最悪の漁獲高になっていますね。やはり気象問題が大きな影響を与えているんですね。なんとかならないものですかね？



(中濃支部 山谷 庸二)

発行日／2025年11月25日

責任者／遠藤 昌克 発行／広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : [gfdaiikyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaiikyo@opal.ocn.ne.jp) <http://gifudaikyo.or.jp/>

### 【編集室メンバー】

馬場 浩之、高橋 励、熊木 千夏、後藤 哲裕、河村 拓也、山谷 庸二、安江 努、  
遠藤 昌克、森 信彦